

市民が待ち望んだ大型施設

樹海体育館が完成・始動しています

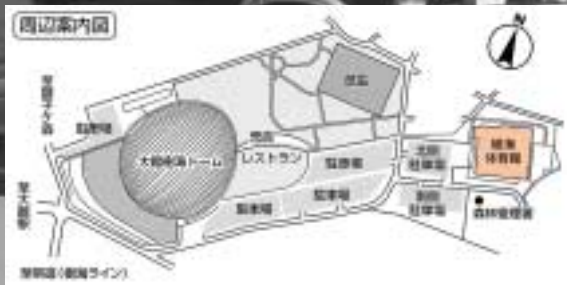
樹海体育館をご案内します

広報市民リポーターだより No.1

リポーター

かずふみ

佐藤一史さん(田代地域南町)



今年6月にオープンした「大館樹海体育館」を市民リポーターの佐藤一史さんに取材していただきました。オープンして4カ月が過ぎ、すでにいろいろなスポーツに使用されていますが、これから本格的な活用が期待される大型体育館は、どんなふうに見えたでしょうか。

大館樹海ドームの隣に完成した「樹海体育館」は、6月11日にこけら落としが行われ、その後、国体リハースル大会やスポ・レク祭などが行われました。

オープンしてまだ4カ月ほどです。で、「まだ利用したことがない」、「遠くからしか見たことがない」というかたがほとんどだと思いますが(私もその一人です)、この度、この「樹海体育館」を訪ねる機会を得ましたので、その模様をリポートします。

ものすごく大きな建物

間近で見た印象は「でかい!」の一言。外観は近代的なデザインで、入り口にいると、隣の大館樹海ドームに負けない存在感があります。

屋根まで一面に張られたガラス壁の木のルーバーと屋根の構造材の木材は、木の質感を感じさせるに十分な意匠が感じられます。

アプローチなどの周辺は、まだ工事中でしたが、玄関口がさらにどう

整備されるのか完成が待たれます(11月末に完成予定とのことです)。

秋田杉がふんだんに使われてたすきな建物です

館内に入ってみると、広々とした吹き抜けのエントランスに迎えられ、木の香りが漂ってきます。

アリーナ(競技場)は、杉材がふんだんに使用されており、柔らかな優しい雰囲気が出されています。特にフロアの壁は、端から端まで横に何本もの杉の角材が真っ直ぐに張られていて、しまいの模様が圧巻です。近代的なデザインの中に優しいイメージの杉を多く使うことで、強く「秋田杉」を主張する工夫がなされていると感じました。

